

令和5年度学校自己評価システムシート (県立妻沼高等学校)

目指す学校像	母校を誇れる生徒を育てる学校
--------	----------------

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 「学び直しから大学進学まで」を保障するため、分かりやすい授業・伸ばす授業を実践する。 「礼儀・身だしなみ・時間厳守」を指導の基本として、思いやりの心と規範意識を醸成する。 計画的なキャリア教育等を実践し、進路知識を深めるとともに意識を高め、一人一人の進路を実現する。 地域との連携を再開し、学校行事・生徒会活動・部活動等の活性化を図り、開かれた活力ある学校づくりを行う。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	<p>【現状】 学業にしっかり取り組む生徒や生活習慣の確立された生徒など課題を抱えた生徒との二極化が進んでいる。学校全体では、落ち着いた状況となっている。</p> <p>【課題】 ・生徒間や教員と意思伝達を含めたコミュニケーション力の向上が課題となる。 ・提出物や課題など、対応する意識が低くなっている。 ・コロナ禍の授業保障から、順次の基本方針を組み、移行する計画が必要である。</p>	<p>・学び直しや学力の定着を目指した教育活動を推進する。 ・生徒への支援体制を継続する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> CTの充実・発展 学びの基礎診断の活用 授業時間の確保 安全管理・安全維持 提出物等への意識改革と取組 言語活動の充実 	<ol style="list-style-type: none"> CT研修会(年間2回以上)を実施する。また、CT委員会を随時開催する。(毎月) 学びの基礎診断の実施、分析、活用を図る。 学校教育活動を戻すように対応を進める。 校内環境の整備と維持を図る。 提出物などの対応と意識の醸成をする。 生徒の発表や発言を行う場の増加と意識改革を図る。 		
2	<p>【現状】 生徒指導の件数については減少傾向であるが、内容の変化について対応を求められる。世情に合わせた新たな課題も見えてきた。</p> <p>【課題】 ・予防的な生徒指導の継続と定着が必要である。 ・通信機器やSNSに対応する新たな課題への対応が求められている。 ・外部専門支援員等の連携と活用を図る。</p>	<p>・指導基本「礼儀・身だしなみ・時間厳守」について粘り強く指導し、予防的な生徒指導を実践する。 ・外部専門支援員等との連携を密にし、生徒支援を充実させる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 全教職員による共通理解の定着と指導の実践 生徒対象の各講習会を実施 生徒情報の共有化 外部専門支援員等との連携充実 	<ol style="list-style-type: none"> 各教職員による「礼儀・身だしなみ・時間厳守」を基本とした予防的指導の徹底を行う。 生徒への教育伝達項目として、教育活動の時間を確保し、生徒教職員共通の意識改革を図る。 様々な生徒情報の共有化を実施する。 外部専門支援員等との連携と有効的な活用を行う。 		
3	<p>【現状】 学校全体でのキャリア教育の成果として、進路希望を概ね達成させることができた。半面、生徒自身の目的意識の低下が目立ってきている。</p> <p>【課題】 ・入学当初から、計画的なキャリア教育に取り組む。 ・各学年における目的意識を持たせる進路指導を実践する。 ・生徒の意識向上を図る。</p>	<p>・将来の目標(職業)について展望を立てさせ、実現に向けた計画的な取り組みを展開させる。 ・生徒の意識改革を行い、自身の進路について正対させるように指導する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 進路希望調査・実態の把握 キャリア教育の計画と実践 進路追跡調査・過去のデータ分析と対策 外部関係組織等との協力・連携 進路報告会の充実 	<ol style="list-style-type: none"> 学年など時機に合わせたキャリア教育や進路指導を計画し実践していく。 各学年による進路希望達成の学習活動指導を行い、生徒自身の目的意識を明確にさせる。 在籍生徒への指導について効果的な指導の対策を講じる。 外部関係組織等やPTAとの協力と連携を深め、生徒進路希望の達成に活用する。 進路達成学年から在校生に向けて行う「進路報告会」を充実させる。 		
4	<p>【現状】 各部活動とも、コロナ禍における制約があるものの、現状を把握しながら部活動を行っている。また、地域との連携など希薄になっている交流活動についても順次回復させる。</p> <p>【課題】 ・部活動へのさらなる加入と、目標設定による意欲の向上を目指す。 ・受検生の確保に努める。 ・情報提供を適宜行い、情報発信を維持する。</p>	<p>・部活動を通じて、豊かな人間性の育成に取り組む。 ・学校情報を適宜発信し、開かれた学校づくりを維持する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 部活動の活性化 PTA・後援会と連携した学校行事の実施 学校の情報発信 生徒募集の充実 近隣との地域交流 	<ol style="list-style-type: none"> 各部活動への関心を高め、加入率を上昇させ、活動を活性化させる。 PTA・後援会と連携した学校行事を実施し、充実させる。 学校から適宜情報発信を繰り返し、開かれた学校づくりを維持する。 教職員全員の協力により、工夫、改善した学校説明会を行い、受検生の確保に努める。 近隣の学校や地域での活動に関して、状況を的確に判断し、効果的、有効的な対応となるように取り組む。 		

学校関係者評価
実施日 令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等